

なつかしいアシの風景や
湿原の貴重な植物との出会い

浮島ヶ原自然公園

Ukishimagahara Nature Park

ミニガイド 4月版

企画・制作:富士自然観察の会

かつては「浮島沼」と呼ばれた湿原で
そこに生きる貴重な動植物に出会えます

四季折々の動植物を観察してみませんか?

浮島ヶ原の湿原には、環境省レッド
データリストや静岡県版レッドデータブック
に記載されている貴重な植物が生育して
います。

そこで、この湿原の貴重な植物群落と
自然風景を保全し、身近な自然を観察
できる自然公園として浮島ヶ原自然公園が



サワトラノオ

整備されました。
サワトラノオやヒキ
ノカサ、ノウルシ
などの貴重な植物、
カワセミやアオサギ
などの野鳥たち、
チョウトンボや
アオモンイトンボ
などの昆虫など、
様々な動植物との
出会いを楽しめる
自然公園です。

4月の公園は、花に彩られます。

この2種類の花で、地面が黄色になります。

ヒキノカサ *Ranunculus ternatus* Thunb. (蛙の傘)

分類:キンポウゲ科キンポウゲ属 保全状況評価:絶滅危惧II類(環境省)・絶滅危惧IB類(静岡県)

水田の畦など、日当たりの良い湿原に生える多年草です。茎は高さ10から30cmで、花期は3月後半から4月にかけてです。

和名のヒキノカサは、「蛙(ヒキ)の傘」の意味で、カエルの住むような湿地に生え、茎や葉、花を傘状に四方に広がる様子からつけたものと言われています。分布は関東以西の本州・四国・九州ですが、静岡県では伊豆の一部と浮島ヶ原にしか分布しません。また、伊豆の産地はごく限られていて、浮島ヶ原ほど広い分布域ではありません。

最近の調査をみても、全国的に数を減らしています。



ノウルシ *Euphorbia adenochlora* C.Morren et Decne. (野漆)

分類:トウダイグサ科トウダイグサ属 保全状況評価:準絶滅危惧(環境省)・絶滅危惧II類(静岡県)

原野や、川岸の湿地に生える多年草です。3月から4月にかけて黄色い花をつけます。もっとも花といっても、植物形態学的には、ポインセチアと同じように苞(ほう)と呼ばれる器官が黄色になって目立つもので、花びらや萼(がく)はありません。花はその中心の小さい部分だけです。茎や葉を切ると白い汁を出し、それが肌につくと人によってはかぶれることもあるため「野漆」の名がつけました。北海道・本州・四国(愛媛)・九州(福岡)に分布し、静岡県では浜松市と富士宮市の記録がありますが、多くは見られません。



身近な野の花もたくさん咲いています。



アメリカフウロ



オオイヌノフグリ



ヒメオドリコソウ



コハコベ



ホトケノザ

ほかにも咲く花があります。詳しくは公園ガイドまで。

浮島ヶ原自然公園のWebサイト・ブログを開設しています。

<http://ukishimagahara.net/> または



でもつぶやいています。「@ukishimagahara」をフォローしてください。



観察会

5月には、公園のシンボルであるサワトラノオが咲きます。そこで、天然記念物でもあるサワトラノオの観察会を富士自然観察の会で行います。

〇5月3日
時間:9:00

～

11:00
参加希望の方は、富士自然観察の会にご入会ください。